



2014年3月期 決算説明会

2014年5月13日

石油資源開発株式会社

注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控え下さい。

注: 本資料において、1H、2H はそれぞれ上期、下期を、
(a) は実績数値を、(e) は予想数値を示しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 広報IR部 IRグループ 電話 03-6268-7111

説明会の内容

I. 事業の概況

代表取締役社長 渡辺 修

II. 2014年3月期 決算概要

執行役員 山下 通郎

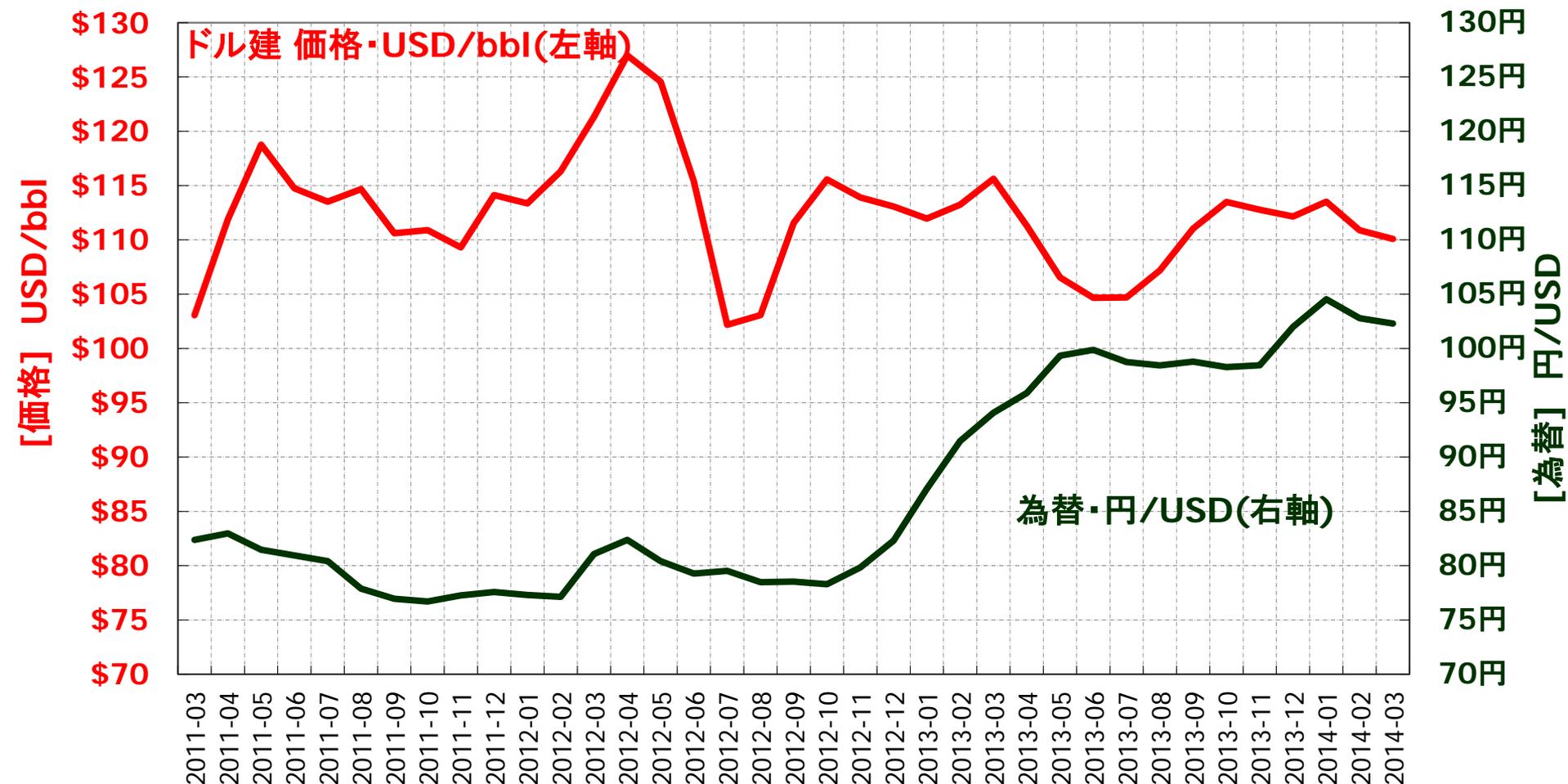
III. 2015年3月期 業績予想

執行役員 山下 通郎

事業の概況

代表取締役社長
渡辺 修

原油価格と為替の動き



2014年4月上旬(4/1-4/10)分のCIF価格(速報)

USD109.77/bbl

101.97 円/USD

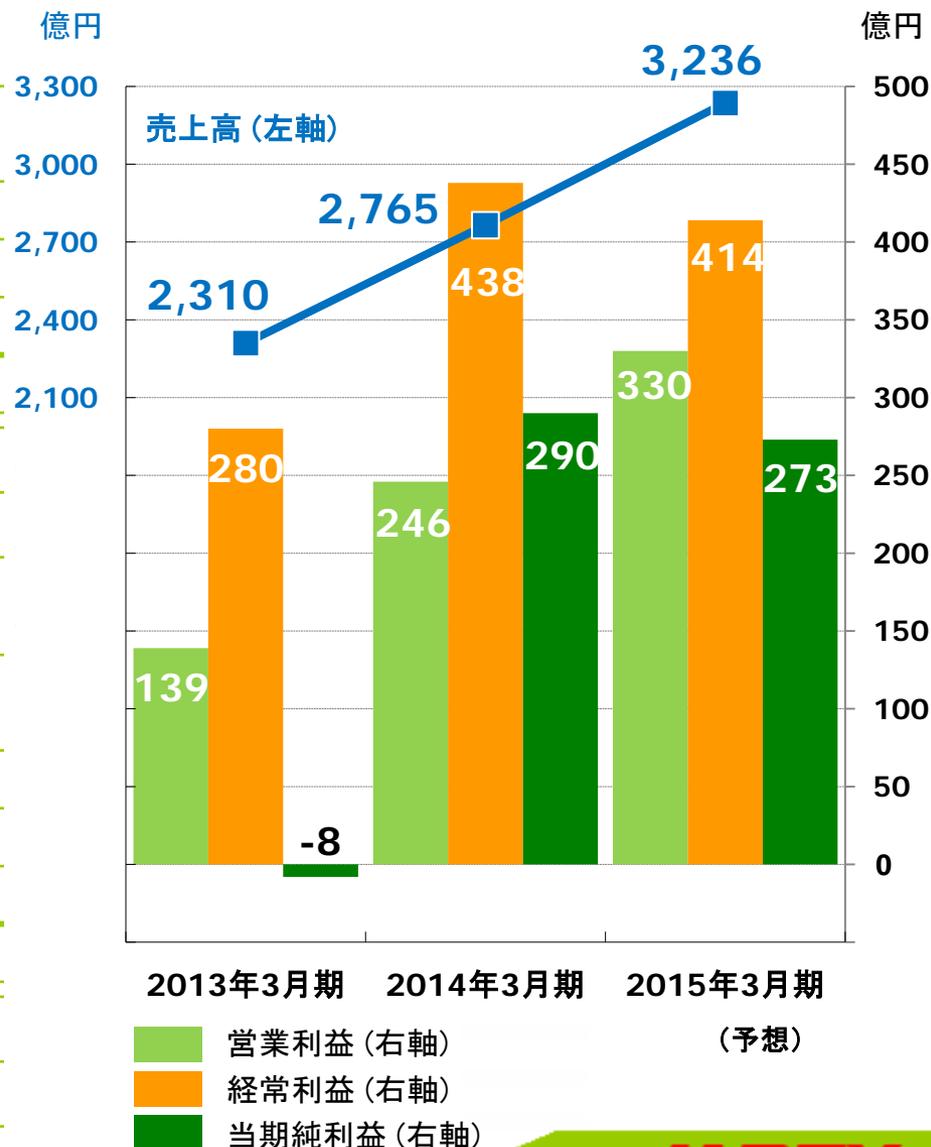
14/3月期決算、15/3月期予想【ハイライト】

■ 14/3月期 実績（13/3月期 実績比）

[億円]	13/3月期 実績 (a)	14/3月期 実績 (a)	比較増減	
売上高	2,310	2,765	+455	+20%
営業利益	139	246	+107	+77%
経常利益	280	438	+158	+56%
当期純利益	▲8	290	+298	-%
油価 (\$/bbl)	114.67	110.51	▲4.16	▲3%
為替 (¥/\$)	81.71	99.31	+17.60	+22%

■ 15/3月期 予想（14/3月期 実績比）

[億円]	14/3月期 実績 (a)	15/3月期 予想 (e)	比較増減	
売上高	2,765	3,236	+471	+17%
営業利益	246	330	+84	+34%
経常利益	438	414	▲24	▲5%
当期純利益	290	273	▲17	▲5%
油価 (\$/bbl)	110.51	100.00	▲10.51	▲9%
為替 (¥/\$)	99.31	100.00	+0.69	+1%



当社経営理念と事業拡大の基本戦略

事業拡大に向けて、E&P事業を軸としつつ、E&Pの海外シフト、国内天然ガス、環境・新技術への新規投資を通じて収益機会の拡大を図ります。

E&P: Exploration and Production
(石油・天然ガスの探鉱・開発・生産)

E&P事業

海外既存資産の
価値最大化

国内既存資産の
価値最大化

投資の海外シフト

生産量の増加

埋蔵量の拡充

海外産自社権益LNGを国内に供給

国内天然ガス 事業

国内外一貫供給体制の構築、
インフラ整備、天然ガス需要開拓

環境・新技術 事業

大型プロジェクト取組加速(CCS、MH)
再生可能エネルギー等新規分野開拓

中期事業計画(2012~2016年3月期)の進捗

国内天然ガス事業

天然ガス資源の確保

- 勇払油ガス田の減退
- 国内探鉱の成功(片貝、勇払)
- カナダ産自社権益LNGの確保

国内インフラ整備

- 相馬LNG受入基地の建設、パイプラインネットワークとの連携

天然ガスの拡販

- 競争力ある国産ガスと海外産LNGを組み合わせ、拡販を展開

E&P事業

投資の海外シフト

- 海外投資比率は「7割」へ拡大

生産量の増加

- インドネシア テランガス田、イラク ガラフ油田での生産開始等

埋蔵量の拡充

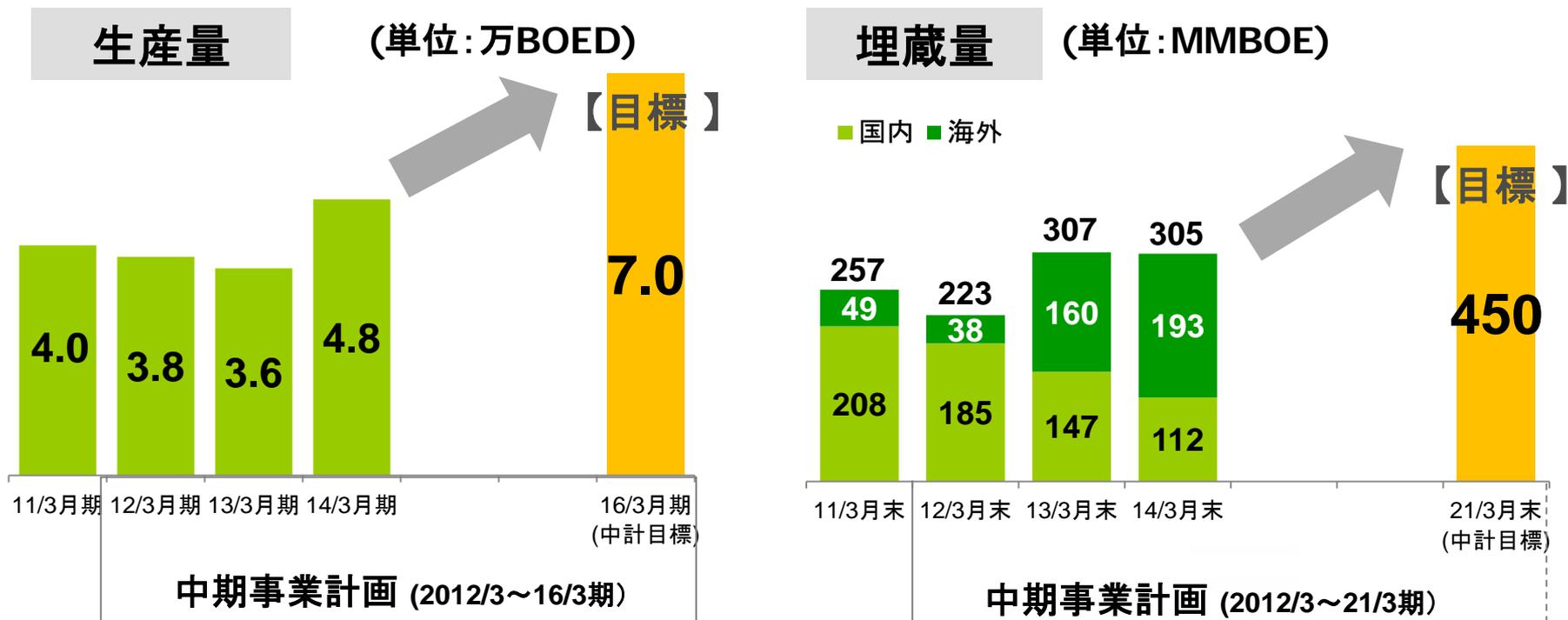
- カナダオイルサンド拡張開発の推進
- カナダシェールガス・LNGプロジェクトへの参画等

これまでの取り組みの進展により、収益機会の拡大と更なる事業成長へ
中計で定めた目標(生産量は7万BOED、埋蔵量は450百万BOE)は、前倒し達成を目指す

生産量・埋蔵量の推移

◆生産量・埋蔵量の2014年3月期実績はそれぞれ4.8万BOED、305MMBOE

- 生産量はSODECOやKangeanTSBガス田における通年生産の寄与等により約32%増加
- 埋蔵量はカナダシェールガス開発権益の取得等により増加も、国内の減退や評価見直し等により約1%減少
- 今後、更なるカナダシェールガス開発やイラク・ガラフ等の進捗、カナダHangingstone拡張開発、さらには新規案件取得等を通じて中期目標の達成を目指す

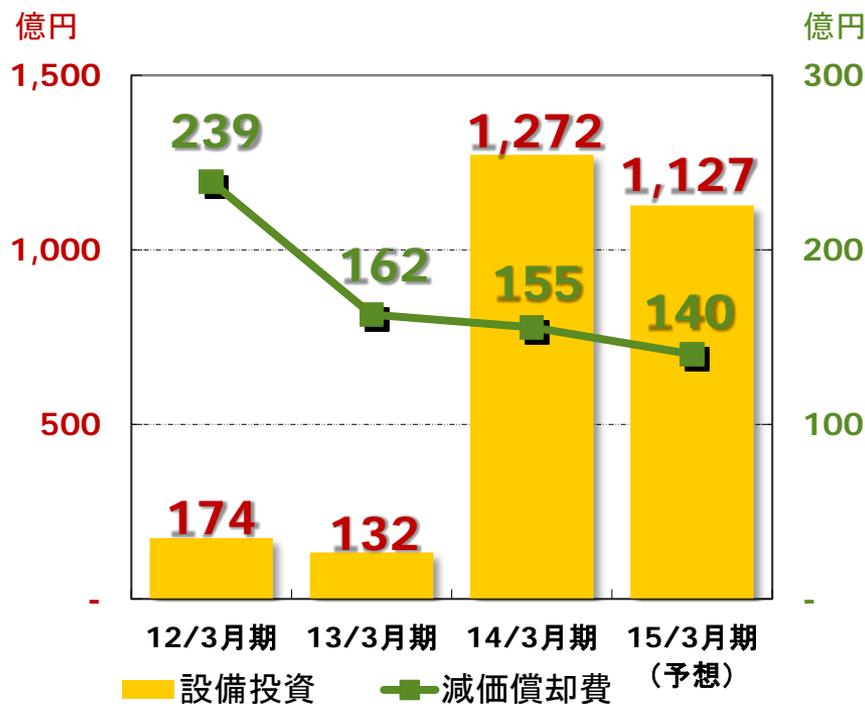


※上記生産量、埋蔵量は当社グループの経済的取分相当量

15/3月期 設備投資等の計画

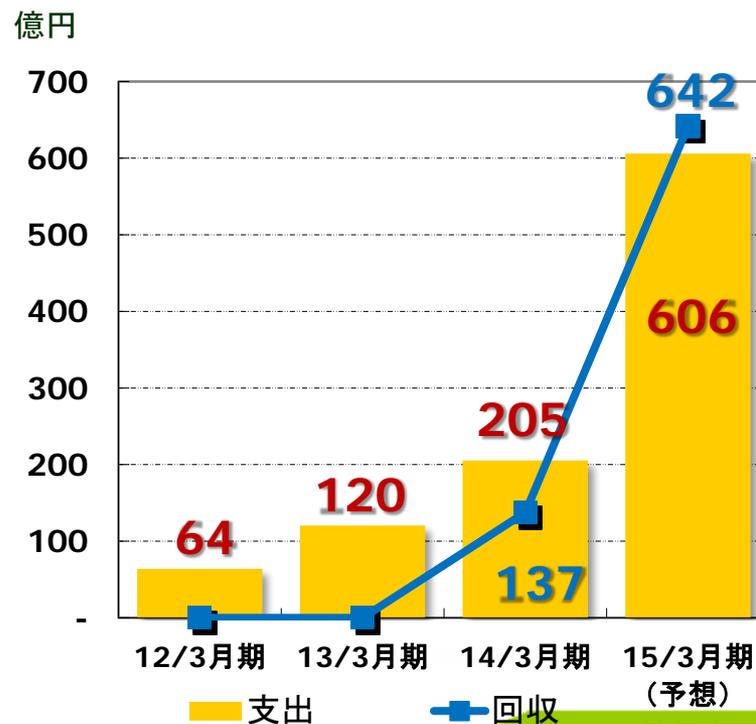
■設備投資額および減価償却費

[単位:億円]	12/3 月期	13/3 月期	14/3 月期	15/3 月期 (予想)
設備投資額	174	132	1,272	1,127
減価償却費	239	162	155	140



■生産物回収勘定の支出額と回収額

[単位:億円]	12/3 月期	13/3 月期	14/3 月期	15/3 月期 (予想)
支出額	64	120	205	606
回収額	-	-	137	642



プロジェクトタイムラインと投資規模

■タイムライン	15/3月期	16/3月期	17/3月期	18/3月期	19/3月期	20/3月期
カナダ オイルサンド拡張開発			◆生産開始 (2016年央目標)	生産規模の段階的拡張(予定)		
カナダ シェールガス(上流)	生産量の段階的な増加					
カナダLNG プロジェクト(中流)		◆中流事業FID (2014年末目標)				◆LNG生産開始 (2018年末目標)
相馬LNG受入基地					◆LNG受入開始 (2018年3月目標)	
■投資規模	15/3月期	16/3月期～20/3月期				
総額	約1,100億円	約1,600億円				
負債等の残高見通し (連結子会社含む借入金 ・債務保証)	2015年3月末(予想) 約1,000億円	設備投資資金は、自己資金及び営業キャッシュフローと借入・出資等で充當予定。				

15/3月期 国内探鉱計画

● 15/3月期 掘削スケジュール

名称	掘削深度	1Q			2Q			3Q			4Q		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
あけぼのSK-6bH (探掘井)	5,800 m	■	■	■									
福米沢H1H (タイトオイル探掘井)	2,300 m		■	■	(掘削)				■	■	(フラクチャリング)		

■ 15/3月期 物理探鉱計画

3D震探

秋田県 由利原周辺3D (63km²)

● 14/3月期 掘削実績

名称	掘削深度	1Q			2Q			3Q			4Q			結果
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
片貝SK-30D-1 (探掘井)	5,268 m	■	■	■	■	■	■							成功
岩船沖東MS-1 (試探掘井)	3,740 m		■	■	■	■	■							探掘成功
あけぼのSK-6aH (探掘井)	5,800 m										■	■	■	次期継続



国内事業の収益力強化(1) 北海道ビジョン

北海道では以下の「三位一体の対策」を推進し、
ガスビジネスを長期的に継続

勇払操業体制の最適化

⇒ 操業コストの削減

探鉱・開発ポテンシャルの追求

⇒ 「あけぼのSK-6bH」を探鉱中
⇒ 浅層原油開発の可能性を追求

天然ガス拡販と安定供給の確保

⇒ 勇払LNG受入基地及びLNG内航船の活用
⇒ 競争力あるLNGの確保
 相馬LNG受入基地との連携
⇒ 道央南部地域における拡販



国内事業の収益力強化(2) 秋田タイトオイル

鮎川油ガス田:

2014年4月1日～
商業生産開始
(原油日産量約35kl)

⇒鮎川油ガス田での女川
タイト層の知見習得



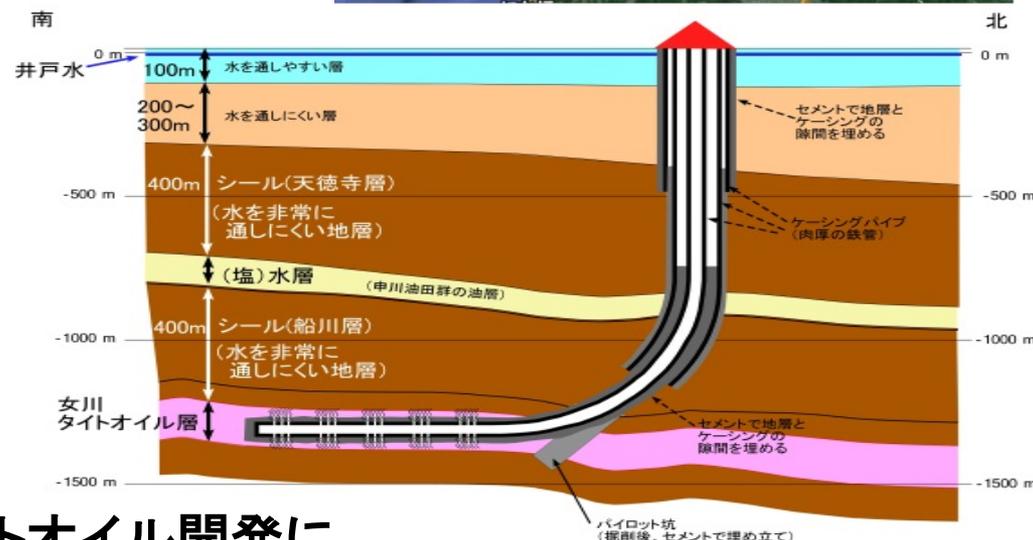
鮎川油ガス田での実証試験の様子(2012年)



福米沢(ふくめざわ)油田:

2014年5月下旬～
我が国初のタイト層多段
フラクチャリング実証試験
に向け、水平井掘削開始

⇒福米沢油田の増産の可能性

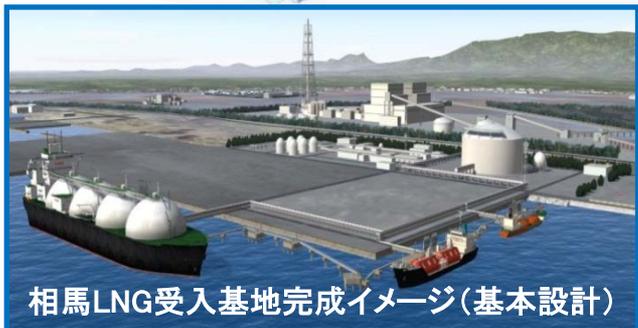


パイロット坑 (掘削後、セメントで埋め立て)
福米沢油田での実証試験概念図

秋田県に広く分布する女川層タイトオイル開発に
係る知見習得の大きな寄与に期待

国内事業の収益力強化(3) 相馬LNG受入基地

カナダ産LNGを国内需要家へ～天然ガス一貫供給体制の構築

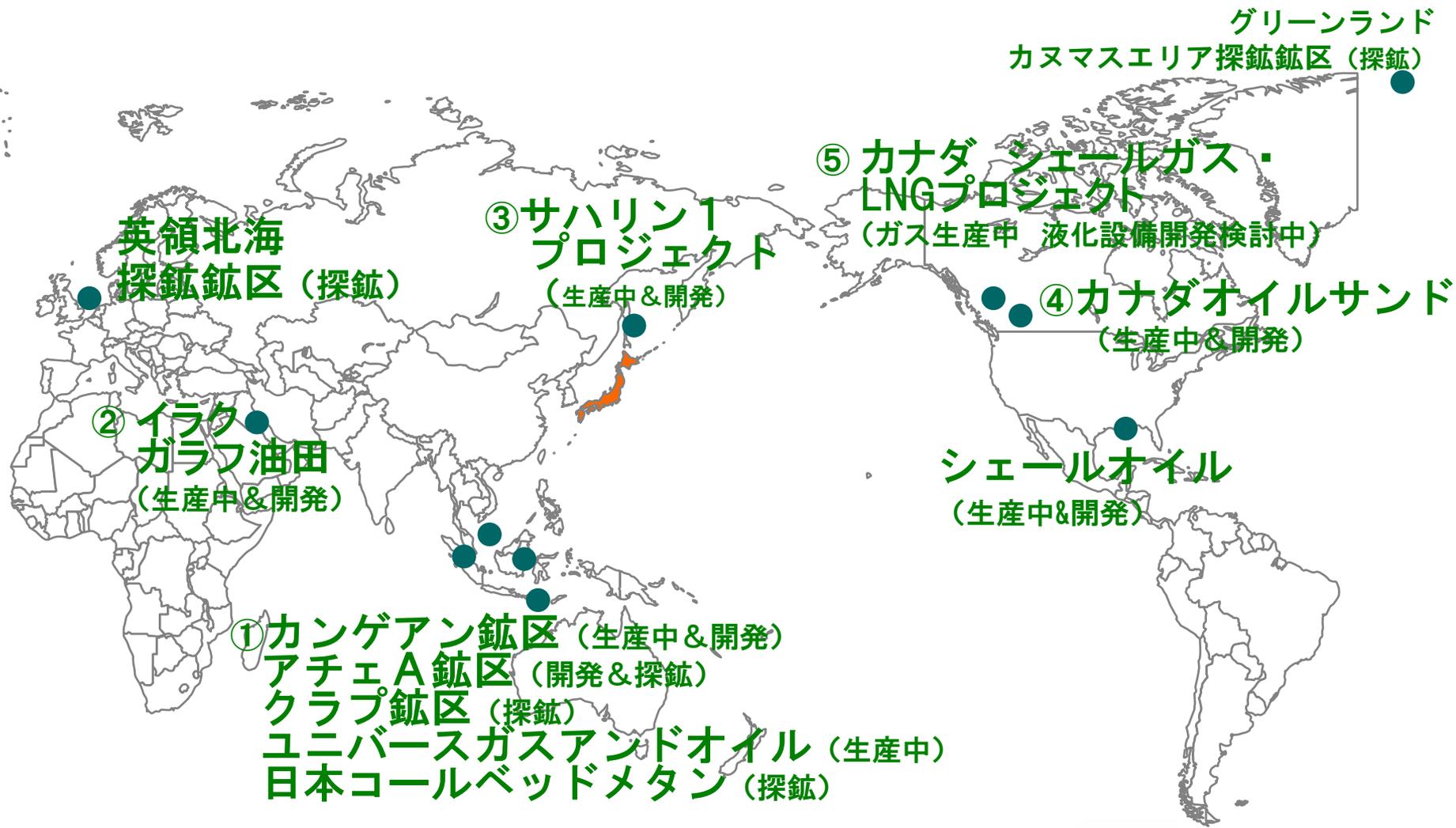


■相馬LNG受入基地建設スケジュール

2013年11月27日	最終投資決定(FID)
2014年～	建設開始
2017年末	基地完成予定
2018年3月	操業開始予定

海外事業現況

● 連結子会社及び持分法適用関連会社が
権益を保有する鉱区



海外事業現況 ① インドネシア カンゲアン鉱区

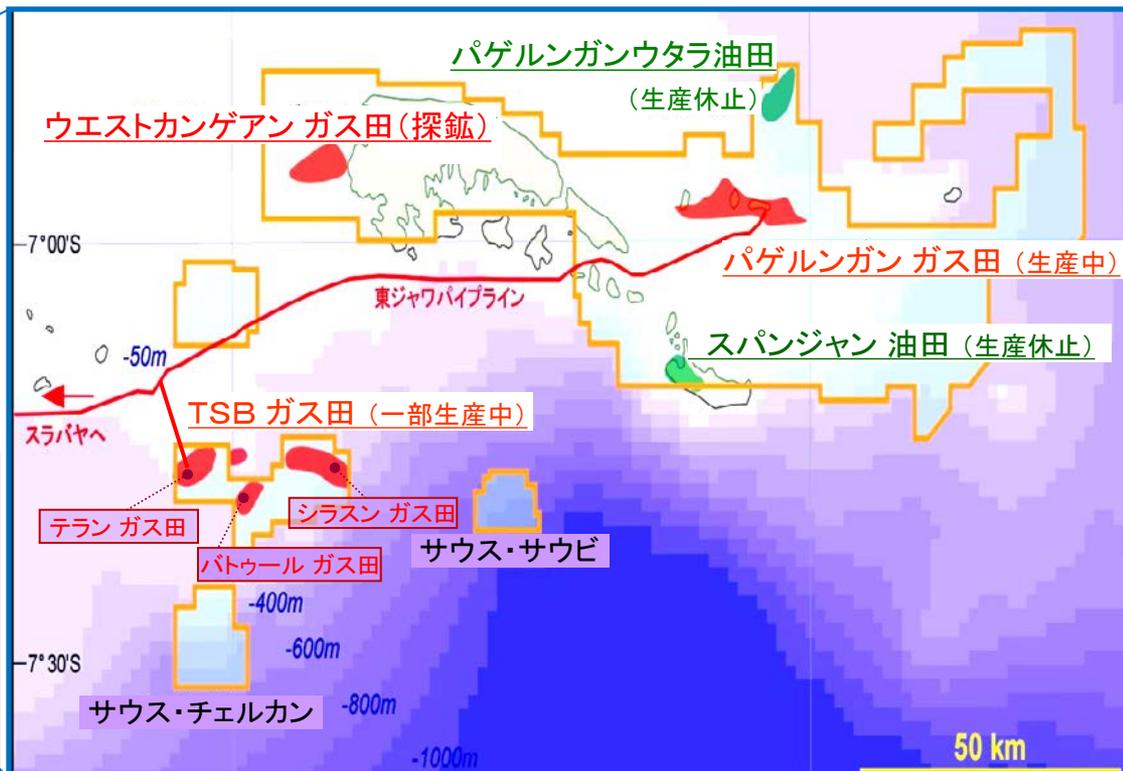


プロジェクト会社

**Kangean Energy
Indonesia Ltd. (KEI)**
他2社：持分法適用会社

権益比率

25% (オペレーター：KEI)



■ 現在の生産規模は、原油換算約5万boe/d

□ TSBガス田 (Phase1 テラン)：

2012年5月末生産開始、

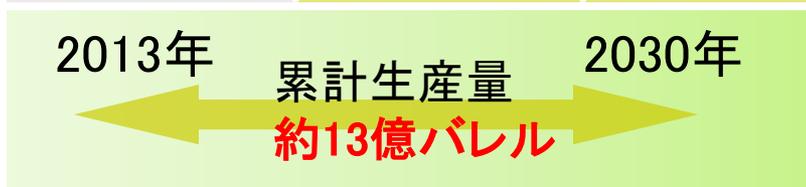
最大生産3億cf/d (原油換算約5万boe/d)

(Phase2 シラスン、バトゥール)：開発準備中



海外事業現況 ② イラク ガラフ油田開発

プロジェクト会社	(株)ジャペックスガラフ	
参加比率	30% (資金負担40%) オペレーター：PETRONAS	
油田名	ガラフ油田	生産中



■ 開発スケジュール

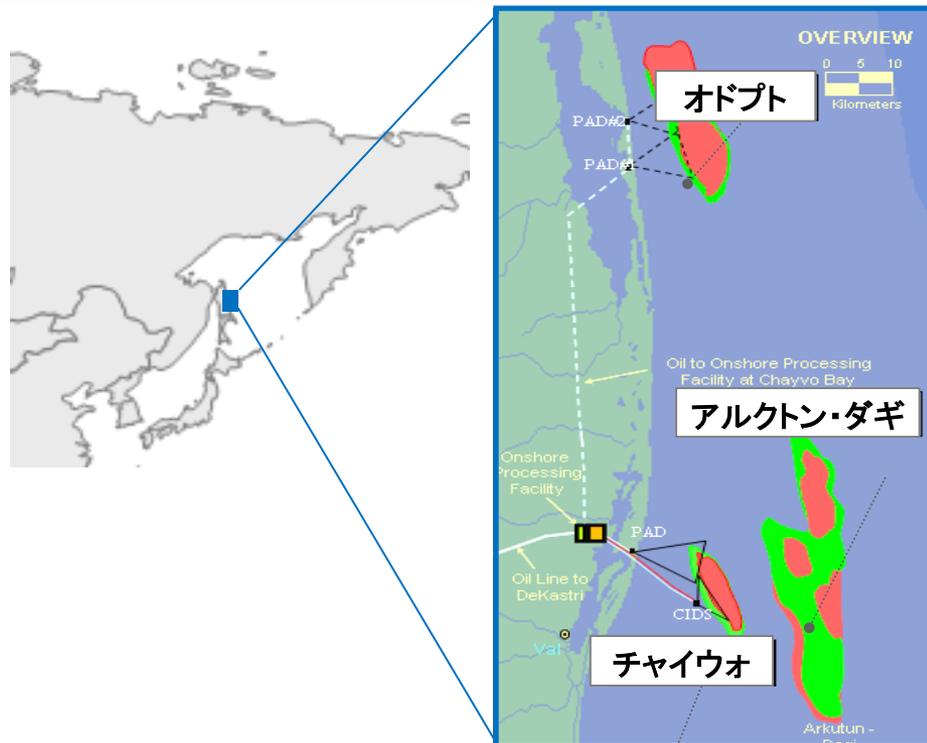
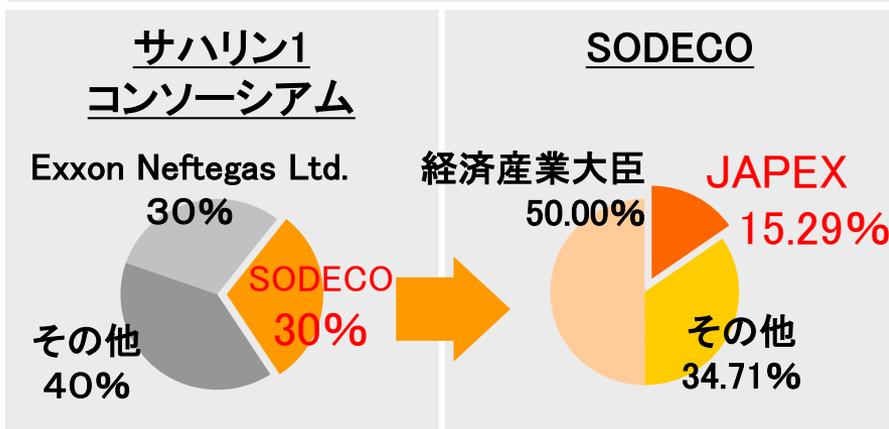
2013年	生産開始 生産開始～2013年末の平均生産量： 日量6万4千バレル
2014年～ 2016年	段階的に生産量引き上げ
2017年	日量 23万バレル 到達予定



海外事業現況 ③ サハリン1 プロジェクト

プロジェクト会社
サハリン石油ガス開発株 (SODECO)
持分法適用会社

権益比率

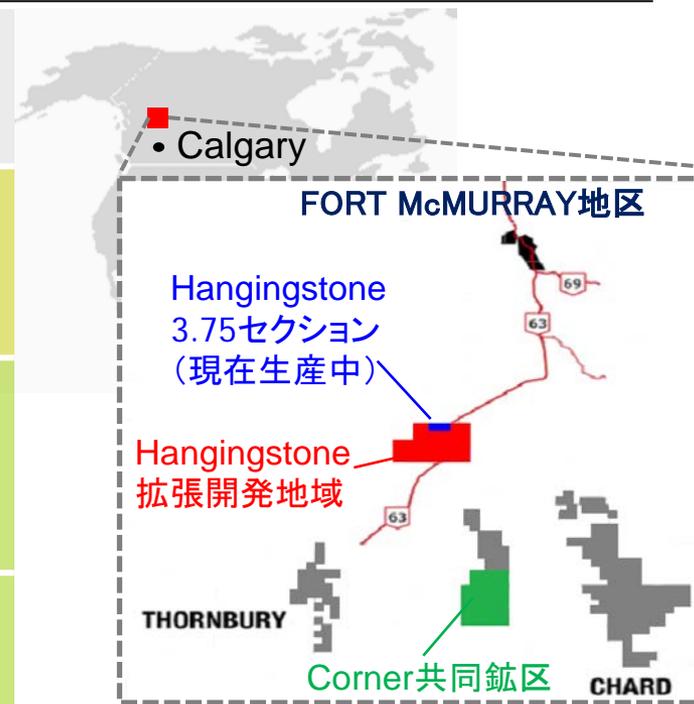


鉱区	チャイウオ、オドプト	生産中 (合計原油生産量: 約13万bbl/日※) ※当社見積もりによる、プロジェクト全体の2014年平均日量
	アルクトン・ダギ	2014年の生産開始に向けて開発中



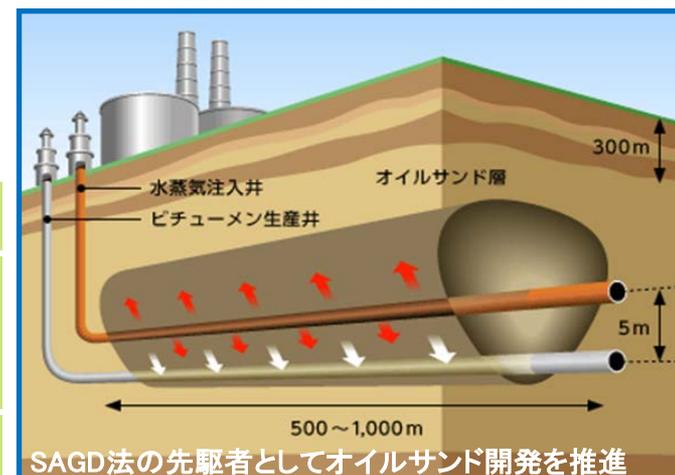
海外事業現況 ④ カナダオイルサンド

プロジェクト 会社	カナダオイルサンド(株) (CANOS) オペレーター : Japan Canada Oil Sands Ltd. (JACOS)	
鉱 区	ハンギングストーン3.75 セクション (権益比率) 100% 日量約6,000 バレル	生産中 (2014年3月末 累計生産量: 3,116万バレル)
	ハンギングストーン未開発地域 拡張開発 (権益比率) 75% 日量20,000バレル規模から段階的拡張を予定	開発 作業中
	コーナー共同鉱区 (権益比率) 12%	評価 作業中
	その他ビチューメン鉱区 (コーナー、チャード、ソンベリー等)	検討中



■ハンギングストーン拡張開発スケジュール

2012年	12月: 最終投資決定(FID)
2013年	2月: 開発工事着手(初期土木工事)
	8月: 水平井掘削開始 9月: 主要施設のEPC契約締結
2016年	生産開始予定



海外事業現況 ⑤ カナダシェールガス・LNGプロジェクト

	シェールガス開発・生産プロジェクト (上流)	LNGプロジェクト (中流)
鉱区/ プラント 候補地	カナダ ブリティッシュ・コロンビア州ノース・モントニー地域	同州プリンス・ルパート レルー島
当社参加 比率	10%権益	10%持分
オペレーター	PETRONAS (子会社含む)	PETRONAS (子会社含む)
現況	シェールガス生産・販売中	設備基本設計を実施中



■プロジェクトスケジュール

2013年4月26日	契約締結
2014年末	LNGプラント最終投資決定(FID)予定
2014年～2018年	LNGプラント建設
2018年末	LNG生産開始(1200万トン/年)



環境・新技術事業の取り組み

太陽光発電事業



北海道鉱業所発電所 完成予想図

地熱発電事業



武佐岳地域での掘削作業

CCS



画像提供：日本CCS調査(株)

CCS観測井の掘削作業

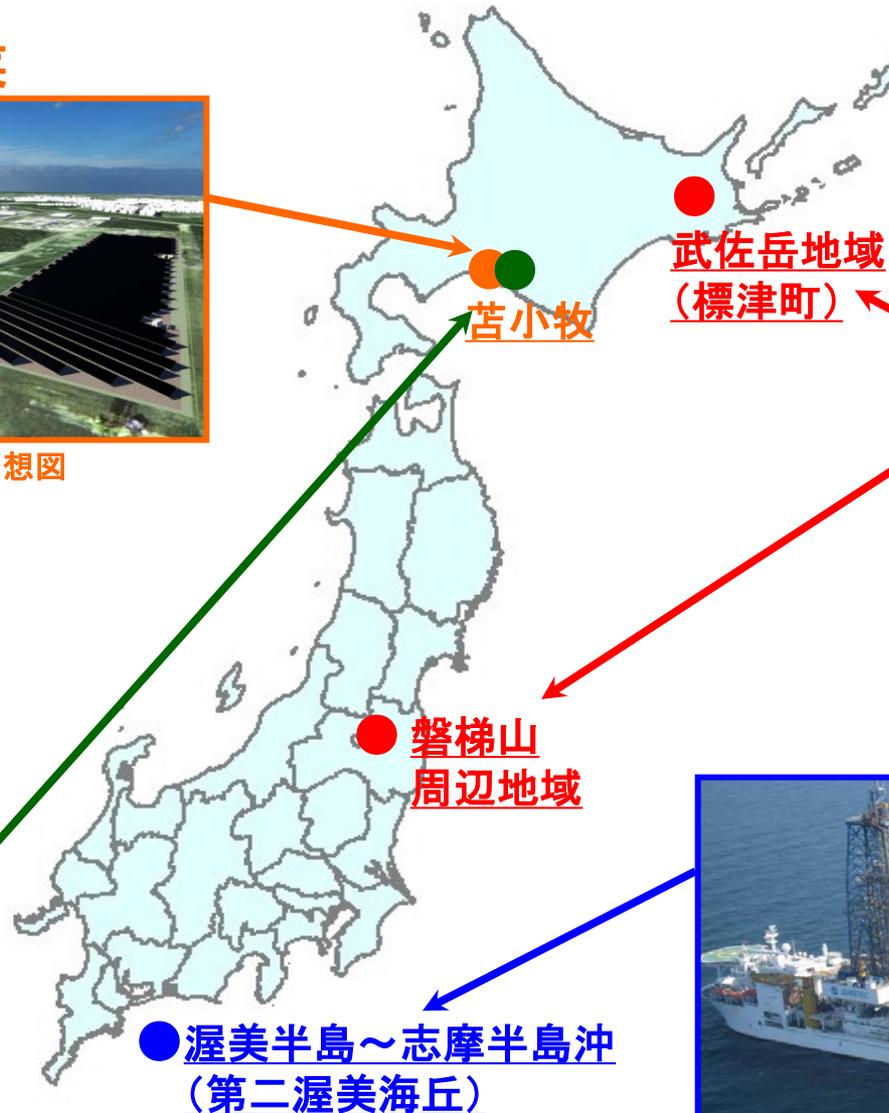
メタンハイドレート



画像提供：JOGMEC



第1回メタンハイドレート海洋産出試験



2014年3月期 決算概要

執行役員 山下 通郎

14/3月期 決算概要【ハイライト】

[百万円]	13/3月期 通期 実績 (a)	14/3月期 通期		
		当初予想 5.10公表 (e)	修正予想 2.7公表 (e)	実績 (a)
売上高	231,086	232,692	272,802	276,588
営業利益	13,906	20,722	21,540	24,634
経常利益	28,082	28,783	38,083	43,889
当期純利益	▲865	21,511	24,089	29,015

[油価と為替の前提]

原油CIF価格 (USD/bbl)	114.67	100.00	109.93	110.51
為替/米ドル (Yen/USD)	81.71	90.00	98.43	99.31
ビチューメン価格 (CAD/bbl)	50.71	45.87	51.58	51.67
為替/カナダドル (Yen/CAD)	87.05	90.00	98.42	98.42

◆ 14/3月期 当初予想 (5.10公表) → 修正予想 (2.7公表)

- 【+】原油、天然ガス販売価格の上昇、為替の変動、持分法投資利益の増加
- 【-】勇払油ガス田に係る事業用資産の減損

◆ 14/3月期 修正予想 (2.7公表) → 再修正(4.25公表)ならびに決算値(5.12短信)

- 【+】原油販売価格の上昇、持分法投資利益の増加
- 営業利益 246 億円 (2.7公表比 +30 億円)
- 経常利益 438 億円 (2.7公表比 +58 億円)
- 当期純利益 290 億円 (2.7公表比 +49 億円)

14/3月期 天然ガス 販売状況【前期比】

販売量: 百万M3 売上高: 百万円		13/3月期		14/3月期		比較増減	
		4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期 (a)	4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期 (a)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
天然ガス:	販売量	685	1,455	614	1,418	▲70	▲36
	売上高	30,054	69,795	31,883	71,584	+1,828	+1,789

権益天然ガスの内訳

国産ガス	販売量	498	1,019	408	853	▲89	▲166
海外ガス	販売量	0	1	37	167	+36	+166

百万M3

1,200

1,000

800

600

400

200



13/3月期通期 14/3月期通期

海外ガス販売量

国産ガス販売量

販売量 前期比 ▲36百万M3(▲2%) 減少
生産量減少に伴う国産ガス販売量の減少

売上高 前期比 +17億円(+2%) 増加
天然ガス販売価格の上昇、海外ガス販売量の増加

本資料における「国産ガス」の販売量は、買入ガスを除く数値を記載しています。
また、「海外ガス」の販売量は、海外連結子会社であるJapex(U.S.)Corp.、JAPEX
Montney Ltd.の数値を記載しています。

14/3月期 原油 販売状況【前期比】

		13/3月期		14/3月期		比較増減	
		4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期 (a)	4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期 (a)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
原油:	販売量(千KL)	920	1,684	877	1,902	▲42	+217
	売上高(百万円)	46,463	88,529	53,919	119,370	+7,456	+30,841

【権益原油の内訳】

国産原油	販売量(千KL)	240	468	188	390	▲51	▲78
	売上高(百万円)	14,291	28,167	12,828	27,391	▲1,462	▲775
海外原油	販売量(千KL)	1	5	8	280	+7	+274
	売上高(百万円)	61	290	478	18,070	+417	+17,780
ビチューメン	販売量(千KL)	187	349	165	342	▲21	▲6
	売上高(百万円)	4,708	9,694	5,110	10,962	+401	+1,267

【油価と為替の前提】

原油CIF価格	(USD/bbl)	116.16	114.67	108.53	110.51	▲7.63	▲4.16
為替/米ドル	(Yen/USD)	80.35	81.71	97.58	99.31	+17.23	+17.60
ビチューメン価格	(CAD/bbl)	52.02	50.71	52.22	51.67	+0.20	+0.96
為替/カナダドル	(Yen/CAD)	76.77	87.05	94.01	98.42	+17.24	+11.37

国産原油 : 【－】販売量の減少

海外原油 : 【＋】ガラフ油田の原油販売開始

ビチューメン : 【＋】販売価格の上昇

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は買入原油を除いており、「ビチューメン」の価格及び売上高はロイヤリティ控除後の数値です。また、「海外原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社であるJapex (U.S.) Corp.、JAPEX Montney Ltd.、株式会社ジャペックスガラフの数値を記載しています。

14/3月期 決算概要【前期比】

単位：百万円	13/3月期	14/3月期	比較増減
	通期実績 (a)	通期実績 (a)	
売上高	231,086	276,588	+45,502
売上総利益	59,010	66,127	+7,117
探鉱費	13,086	9,800	▲3,285
販売管費	32,017	31,692	▲324
営業利益	13,906	24,634	+10,728
営業外損益	14,176	19,255	+5,078
経常利益	28,082	43,889	+15,806
特別損益	▲34,522	▲8,305	+26,217
法人税等	▲6,927	5,566	+12,494
少数株主利益	1,352	1,002	▲350
当期純利益	▲865	29,015	+29,880

損益変動要因 (MEMO)

「増益要因を +」、「減益要因を ▲」
で記載

売上総利益

国内原油天然ガス	+43億円
LNG代替費用	+20億円
資産除去債務	▲24億円
海外連結子会社	+29億円

探鉱費

海外探鉱	+36億円
国内探鉱	▲3億円

営業外損益

持分法投資利益	+113億円
受取配当金	▲72億円

特別損益

権益譲渡益	▲28億円
勇払油ガス田の生産操業 に係る事業用資産減損計 上額の減少	+290億円

2015年3月期 業績予想

執行役員 山下 通郎

15/3月期 業績予想【ポイント】

[百万円]	14/3月期		15/3月期		比較増減	
	4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期 (a)	4-9月 2Q累計 (e)	4-3月 通期 (e)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
売上高	120,281	276,588	157,514	323,633	+37,232	+47,044
営業利益	11,543	24,634	14,339	33,077	+2,796	+8,442
経常利益	19,902	43,889	20,159	41,469	+257	▲2,420
当期純利益	15,883	29,015	13,597	27,379	▲2,286	▲1,636

[油価と為替の前提]

原油CIF価格 (USD/bbl)	108.53	110.51	100.00	100.00	▲8.53	▲10.51
為替/米ドル (Yen/USD)	97.58	99.31	100.00	100.00	+2.42	+0.69
ビチューメン価格 (CAD/bbl)	52.22	51.67	54.42	54.15	+2.20	+2.48
為替/カナダドル (Yen/CAD)	94.01	98.42	95.00	95.00	+0.99	▲3.42

【15/3月期 前期比 ポイント】

損益変動要因 (MEMO)

「増益要因を +」、「減益要因を ▲」で記載

■ 営業利益	+ 84 億円	探鉱費	+ 59 億円
■ 経常利益	▲24 億円	営業外損益	▲108 億円
■ 当期純利益	▲ 16 億円	特別損益	+ 83 億円
		法人税等	▲ 66 億円

15/3月期 天然ガス 販売予想

販売量: 百万M3 売上高: 百万円		14/3月期		15/3月期		比較増減	
		4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期 (a)	4-9月 2Q累計 (e)	4-3月 通期 (e)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
天然ガス:	販売量	614	1,418	770	1,684	+155	+265
	売上高	31,883	71,584	36,293	80,169	+4,409	+8,585

権益天然ガスの内訳

国産ガス	販売量	408	853	381	801	▲28	▲53
海外ガス	販売量	37	167	200	417	+163	+249

百万M3

1,400

1,200

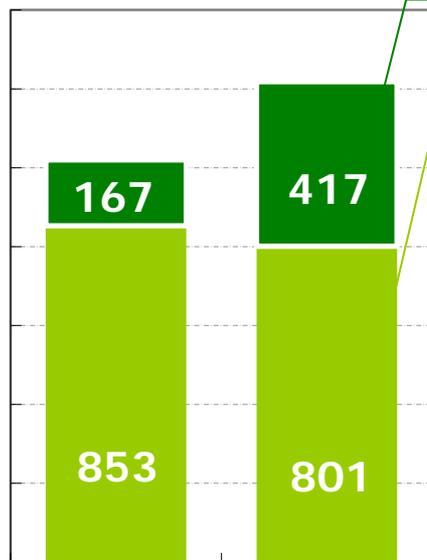
1,000

800

600

400

200



14/3月期通期 15/3月期通期 (予想)

海外ガス販売量

国産ガス販売量

販売量 前期比 +265百万M3(+18%) 増加
生産量増加に伴う海外ガス販売量の増加

売上高 前期比 +85億円(+12%) 増加
海外ガス販売量の増加に伴う増収

本資料における「国産ガス」の販売量は、買入ガスを除く数値を記載しています。
また、「海外ガス」の販売量は、海外連結子会社であるJapex(U.S.)Corp.、JAPEX
Montney Ltd.の数値を記載しています。

15/3月期 原油 販売予想

		14/3月期		15/3月期		比較増減	
		4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期 (a)	4-9月 2Q累計 (e)	4-3月 通期 (e)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
原油:	販売量(千KL)	877	1,902	1,443	2,695	+565	+793
	売上高(百万円)	53,919	119,370	85,582	158,248	+31,662	+38,878

[権益原油の内訳]

国産原油	販売量(千KL)	188	390	207	391	+18	+1
	売上高(百万円)	12,828	27,391	13,321	25,176	+493	▲2,216
海外原油	販売量(千KL)	8	280	585	1,223	+576	+943
	売上高(百万円)	478	18,070	35,388	73,948	+34,909	+55,878
ビチューメン	販売量(千KL)	165	342	161	330	▲4	▲12
	売上高(百万円)	5,110	10,962	5,245	10,666	+135	▲295

[油価と為替の前提]

原油CIF価格	(USD/bbl)	108.53	110.51	100.00	100.00	▲8.53	▲10.51
為替/米ドル	(Yen/USD)	97.58	99.31	100.00	100.00	+2.42	+0.69
ビチューメン価格	(CAD/bbl)	52.22	51.67	54.42	54.15	+2.20	+2.48
為替/カナダドル	(Yen/CAD)	94.01	98.42	95.00	95.00	+0.99	▲3.42

国産原油 : 【-】販売価格の下落

海外原油 : 【+】販売量の増加

ビチューメン : 【-】販売量の減少

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は買入原油を除いており、「ビチューメン」の価格及び売上高はロイヤリティ控除後の数値です。また、「海外原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社であるJapex (U.S.) Corp.、JAPEX Montney Ltd.、株式会社ジャペックスガラの数値を記載しています。

15/3月期 通期 業績予想

単位：百万円	14/3月期	15/3月期	比較増減
	通期実績 (a)	通期予想 (e)	
売上高	276,588	323,633	+47,044
売上総利益	66,127	70,611	+4,483
探鉱費	9,800	3,892	▲5,908
販売費	31,692	33,642	+1,949
営業利益	24,634	33,077	+8,442
営業外損益	19,255	8,393	▲10,862
経常利益	43,889	41,469	▲2,420
特別損益	▲8,305	▲1	+8,304
法人税等	5,566	12,195	+6,628
少数株主利益	1,002	1,895	+892
当期純利益	29,015	27,379	▲1,636

損益変動要因（MEMO）
「増益要因を＋」、「減益要因を▲」
で記載

売上総利益

国内原油天然ガス	▲27億円
資産除去債務	+24億円
海外連結子会社	+46億円

探鉱費

国内探鉱	+59億円
------	-------

営業外損益

持分法投資利益	▲88億円
為替差損益	▲11億円

特別損益

（前期計上特別損益の影響額）	
勇払油ガス田の生産操業 に係る事業用資産の減損	+79億円

油価・為替の前提及び収益への影響

油価と為替 の前提	原油CIF価格 USD /bbl	為替 円/USD	ビチューメン CAD /bbl (円 /CAD)				
15/3月期 収益 影響額	USD 1 /bbl の 油価上昇 による 利益増加額は…	1 円/USD の 円安 による 利益増加額は…	CAD 1 /bbl の ビチューメン価格上昇による 利益増加額は…				
営業利益	510 百万円	680 百万円	(207 万CAD) 200 百万円				
当期純利益	350 百万円	370 百万円	(146 万CAD) 140 百万円				
[為替と油価の前提]	14/3月期			15/3月期			比較増減 通期
	1H 1Q-2Q (a)	2H 3Q-4Q (a)	通期 (a)	1H 1Q-2Q (e)	2H 3Q-4Q (e)	通期 (e)	
原油CIF価格 (USD/bbl)	108.53	112.33	110.51	100.00	100.00	100.00	▲10.51
為替/米ドル (Yen/USD)	97.58	100.84	99.31	100.00	100.00	100.00	+0.69
ビチューメン価格 (CAD/bbl)	52.22	51.16	51.67	54.42	53.89	54.15	+2.48
為替/カナダドル (Yen/CAD)	94.01	98.42	98.42	95.00	95.00	95.00	▲3.42

注1: 「ビチューメン」の価格はロイヤリティ控除後の価格を表記しております。

注2: 為替変動の影響に関して、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生します。
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因によっても影響されます。